

## 7 婦人学級研究大会

### (1) 趣 旨

県内の婦人学級の代表及び婦人教育関係者が一堂に会し、婦人学級の運営・学習活動についての発表・研究協議を行い、婦人学級の改善充実を図る。

### (2) 期日、会場、参加者

① 昭和58年11月25日(金)～26日(土) 1泊2日

② 会 場 郡山市民会館・郡山市立中央公民館  
郡山市視聴覚センター

③ 参 加 者 婦人学級生・婦人教育関係者等 420名

### (3) 内 容

#### ① 研究主題

婦人の自立をめざした生涯の各時期における婦人の学習課題を考える。

#### ② 講 演

ア 婦人の学習活動の現状と課題

マネージメント・サービスセンター講師

木 村 芙紗子

イ 婦人の地位と福祉の向上のための福島県計画を推進するため

福島県生活福祉部青少年婦人課主幹兼課長補佐

加 賀 美代子

#### ③ 研究協議

##### ア 協議題

(ア) 婦人の自立をめぐる諸問題を考える

(イ) 生涯の各時期における婦人の学習課題を考える

イ 構成 7部会

ウ 部会別参加対象

(ア) 第1部会 農業に従事する婦人

(イ) 第2部会 雇用労働に従事する婦人

(ウ) 第3部会 幼年期の子供をもつ婦人

(エ) 第4部会 少年期の子供をもつ婦人

(オ) 第5部会 青少年期の子供をもつ婦人

(カ) 第6部会 子供を独立させた婦人

(キ) 第7部会 婦人教育関係者

#### ④ 全 体 会

ア 部会報告

イ 質疑応答・まとめ

## 8 婦人教育指導者研修会

### (1) 趣 旨

市町村における婦人教育活動を推進するための中心的な役割を果たす民間の有志指導者を養成するため、婦人教育活動の企画・実施に必要な知識・技術の習得を図る。

### (2) 期 日

① ブロック研修(事前) 昭和58年7月15日(金)

② 中央研修(前期) 昭和58年7月27日(水)～29日(金)

③ ブロック研修(中間) 昭和58年9月14日(水)

④ 中央研修(後期) 昭和58年11月7日(月)～9日(水)

### (3) 会 場

① ブロック研修 各教育事務所ごと 県下7会場

② 中央研修 国立磐梯青年の家

### (4) 参 加 者 91名

対象 原則として年齢45歳未満の婦人で、次の①～④のいずれかに該当し、市町村教育委員会が推薦する者

- ① 市町村における社会教育指導員又は婦人教育指導員
- ② 市町村教育委員会事務局及び公民館等職員のうち、中堅層として今後の活動を期待される者
- ③ 婦人学級・婦人団体・職場等のリーダーとして、現在並びに今後の婦人教育活動の推進が期待され、地域からも信頼のある者

※ 昭和47年度～57年度においてすでに本研修会を修了し、地域で実践活動を展開している者は、各教育事務所とのブロック研修のみに参加のこと。

### (5) 内容・時間

① 基本研修………20時間

- ア 婦人教育指導者としての資質と心構えに関すること
- イ 地域における婦人教育活動の課題に関すること
- ウ 会議・レクリエーションの理論と実際にすること

② 専門研修………20時間

- ア Aコース 各種サークル・団体会員コース
- イ Bコース 婦人学級生コース
- ウ Cコース 地域婦人団体会員コース
- エ Dコース 婦人教育行政関係者コース

### (6) 研修方法

#### ① 講 義

ア 婦人教育指導者としての心構えと活動のあり方

イ 婦人の自立と婦人の問題

ウ 高齢化社会に対応した生活設計のあり方

エ ホームワークの進め方

オ これからの婦人の生き方・学び方

カ 老後のくらしと年金の知識

キ 婦人教育指導者研修会修了生の活動のあり方

#### ② コース別学習

・婦人の学習・活動年間計画の作成

#### ③ 研究協議

ア 地域における婦人教育活動の現状と課題

イ 婦人の学習・活動年間計画立案上の留意点

#### ④ 演習及び実技研修

ア 会議の進め方

イ レクリエーションの理論と実際

#### ⑤ 実践発表と情報交換

ア 地域に根ざした婦人団体活動

イ 県内婦人問題傾向

#### ⑥ ホームワーク

ア 婦人の学習要求と婦人問題の調査

## 9 県婦人教育指導員の設置

### (1) 趣 旨

婦人教育の重要性にかんがみ、各教育事務所に婦人教育指導員を置き、市町村における婦人の教育指導並びに婦人団体の健全育成の指導助言にあたり、婦人教育の振興に資する。